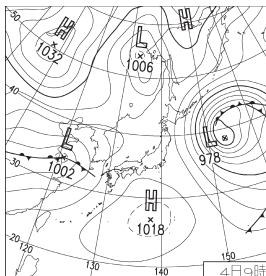


日々の天気図

— No. 51

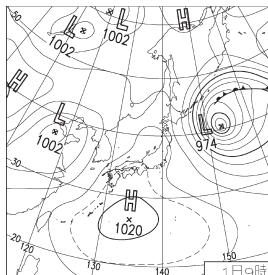
2006年4月

- ・10日～12日、各地で大雨、高知県佐川町337.5 mm/24 h、長崎市長浦岳307.5 mm/24 h、また三重県紀北町紀伊長島78.5 mm/1 h、千葉県君津市坂畑74.5 mm/1 hなど。
- ・20日、日本海で低気圧発達。最大瞬間風速、釧路市35.2 m/s、島根県浜田市33.8 m/sなど
(気象庁予報部予報課)



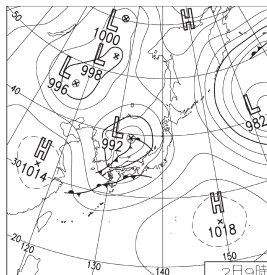
4日(火) 真冬日と夏日が同居

北海道稚内市上空には5300 m付近で-33℃の寒気が入り、網走支庁斜里町宇登呂は最高気温が-2.3℃の真冬日。一方、沖縄県石垣市登野城は5月下旬並みの28.3℃の夏日。



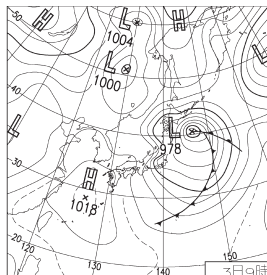
1日(土) 東日本、お花見日和

東日本は終日晴れ、気温も平年並みから4月中旬の暖かさで、桜の開花した地域ではお花見日和。西日本、南西諸島は曇り。北日本は東北、北海道南部で晴れの他は曇り。



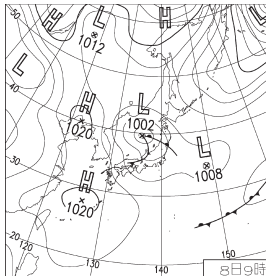
2日(日) 寒冷前線南下

低気圧と前線の影響で、北海道は雪。その他は曇りや雨。寒冷前線南下に伴い、東・西日本の所々で雷雨。奈良市では直径5 mmのひょうを観測。和歌山県田辺市龍神116 mm/日。



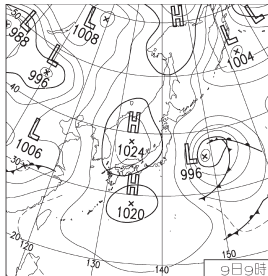
3日(月) 桜前線東北へ

北日本中心に冬型気圧配置強く、関東から北で強風。栃木県日光市中宮祠34.6 m/sの最大瞬間風速。福島県いわき市小名浜で平年より5日早くソメイヨシノ開花。長野市でワメ開花。



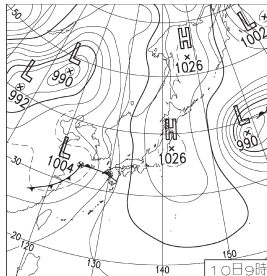
8日(土) 広範囲に黄砂

低気圧が日本海から東北を東に抜け、寒冷前線が本州を南下。東日本～東北は雨、雷を伴う。その他は概ね晴れ。西・東日本や東北の一部など広い範囲で黄砂、視界の悪い所も。



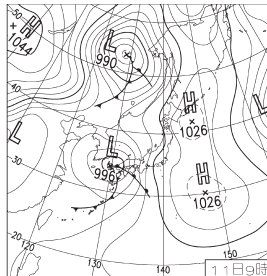
9日(日) 関東東海近畿行楽日和

これらの地方は終日晴れて、3月下旬～4月上旬並みで行楽日和。その他の地方も午前中、新潟、山形で雨や雪の他は概ね曇り。前日に続き東・西日本で黄砂。



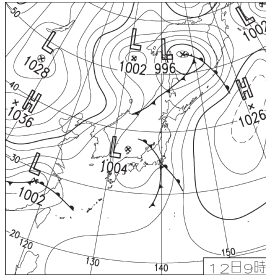
10日(月) 西日本、大雨

気圧の谷が近づき西日本から東海は次第に雨、暗れていた北日本も徐々に曇り。長崎市長浦岳267.5 mm/日は4月の極値。東日本～近畿は2月下旬～3月下旬の最高気温、肌寒い一日。



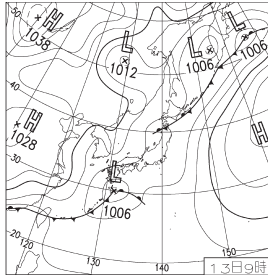
11日(火) 東海から沖縄 大雨

上空に寒気を持った低気圧が九州北部から山陰沖へ東進。低気圧に伴う前線活動が活発で各地大雨。徳島県海陽町穴喰で289.5 mm/日、三重県紀北町紀伊長島で78.5 mm/1 h。



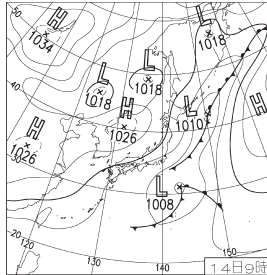
12日(水) 東海、関東南部 大雨

山陰沖の低気圧ゆっくり東進。東日本を前線が東進。ほぼ全国的に雨や曇り。静岡県、関東南部から伊豆諸島で大雨。千葉県君津市坂畑74.5 mm/1 h、年の極値を更新。



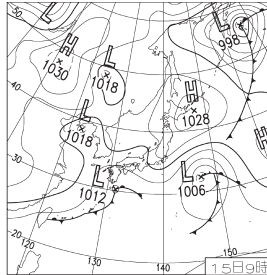
13日(木) 東京湾で濃霧

低気圧が九州南海上から東海沖を東進。関東近海には南から湿った空気が入り、所々で濃霧が発生。早朝、東京湾口で、日本とフィリピンの貨物船が衝突。



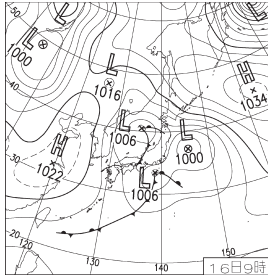
14日(金) 高気圧 北日本へ

北海道の日本海側で晴れた他は、ほぼ全国的に曇りで関東や本州の日本海側の所々で雨。北陸・近畿・中国では平年より3～7℃低い3月上旬～下旬の最高気温。

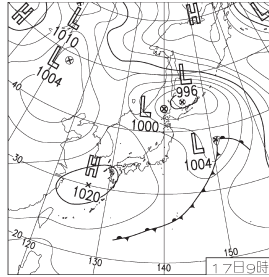


15日(土) 関東、5日ぶりの晴天

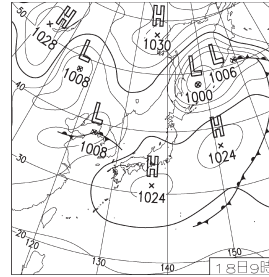
北海道東の高気圧に覆われ、北日本、東日本は北海道と東海の一部で雨の他は晴れ。一方西日本は南岸で低気圧が東進、朝から雨が続く。高知県室戸市佐喜浜174 mm/日。



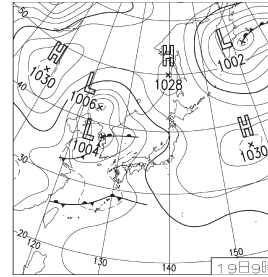
16日(日)北海道東部 大雪
三陸沖を発達中の低気圧が北上。日本海と東海沖を別の低気圧が東進。北海道～東北・北陸で雪。太平洋側は雨。その他は高気圧に覆われて概ね晴れ。十勝支庁大樹町24 cm/日。



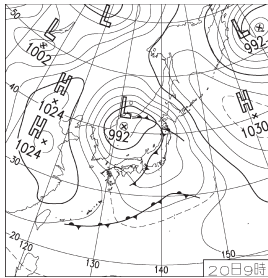
17日(月)北海道はまだ冬
上空に寒気を伴った低気圧が北海道付近に停滞。北日本は雪や雨。東・西日本は移動性高気圧に覆われ晴れ。朝冷え込み。平年より4～6℃低い3月上旬～下旬の最低気温の所も。



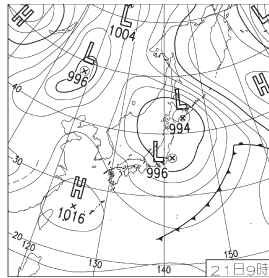
18日(火)東・西日本で黄砂
南高北低の気圧配置。北海道や東北北部は一時雨や雪。東北部から南は晴れ。山陰や東日本で5月上旬～下旬の最高気温。東京大手町は平成12年4月14日以来の黄砂。



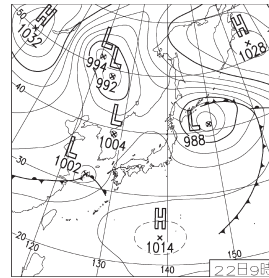
19日(水)引き続き黄砂飛来
中国・四国～東北、北海道函館市で観測。南西諸島は終日雨。西日本の太平洋側も午前中雨。その他は北海道や西日本の一部で晴れた他は曇り。秋田市で平年より8日遅くウメ開花。



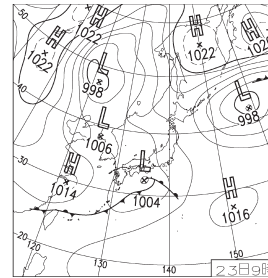
20日(木)寒冷前線通過
日本海の低気圧から伸びる寒冷前線が西～東日本を通過。山陰や九州北部では暴風・高波。北海道も強風。釧路支庁釧路市35.2 m/sの最大瞬間風速。神奈川県藤沢市で突風の被害。



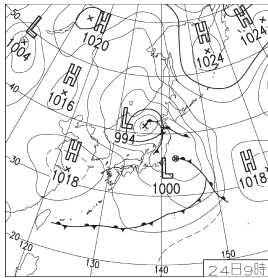
21日(金)強い寒気北日本を通過
石川県輪島市上空には5300 m付近で-32℃の強い寒気。山陰～北日本は一時雨。四国から西は晴れ。近畿、東海、北陸では、平年より10℃以上低い3月上旬の最高気温。



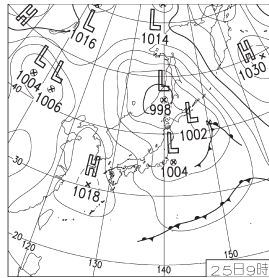
22日(土)九州 朝から雨
北海道東海上を低気圧が北東進。九州には東シナ海から低気圧や前線が近づく。北海道や東北北部は所々雨。九州から近畿へも雨が広がる。その他の地方は概ね晴れ。



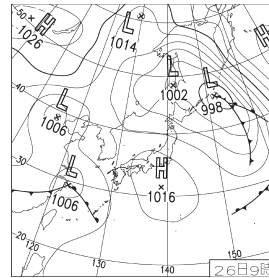
23日(日)日本海低気圧発達
南海上の低気圧の発達は弱く、日本海で前線を伴った低気圧が発達。関東以西は曇りで、太平洋沿岸部の所々で雨。北日本は概ね晴れ。山形市で昨年と同じにソメイヨシノ満開。



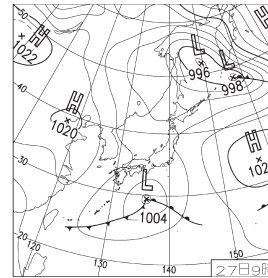
24日(月)黄砂 沖縄～東北まで
西日本～中部地方は終日晴れ。南西諸島と北日本は雨や曇り。その他は晴れや曇りだが、夕方関東南部で雷雨。さいたま市35 mm/1h。盛岡市でウメより先にソメイヨシノ開花。



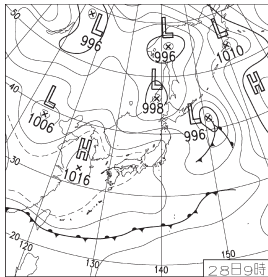
25日(火)関東でひょう
東日本上空を強い寒気が通過。北陸、関東甲信で雷雨となり、前橋市、宇都宮市、埼玉県熊谷市で7～12 mmのひょうを観測。前日に続き、沖縄～北海道南部で黄砂。



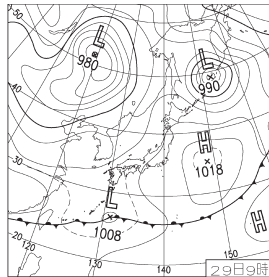
26日(水)沖縄で猛烈な雨
前線を伴った低気圧が東シナ海を東進。西日本は雨。北日本で晴れの他は概ね曇り。沖縄県石垣市川平85.5 mm/1hの猛烈な雨。東日本は寒気が残り3月下旬の最低気温。



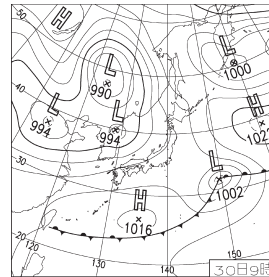
27日(木)日本付近 気圧の谷
本州の南海上を低気圧が東進。東北～近畿、四国は曇りや雨。北海道はほぼ晴れ。九州、中国も昼前から晴れ。南西諸島は曇り。



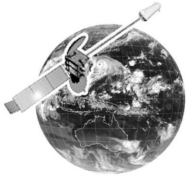
28日(金)先島諸島付近前線停滞
北海道の北を低気圧が東進。北海道は所々で雨。西日本～東北は高気圧に覆われ概ね晴れ。停滞前線近傍の南西諸島は雨。



29日(土)四国で非常に激しい雨
北陸や北日本で晴れた他は曇り、暖かく湿った空気が流れ込んだ関東南部や西日本の一部で雨。南西諸島も雨。高知県土佐清水市53 mm/1h、154 mm/日、4月の極値を更新。

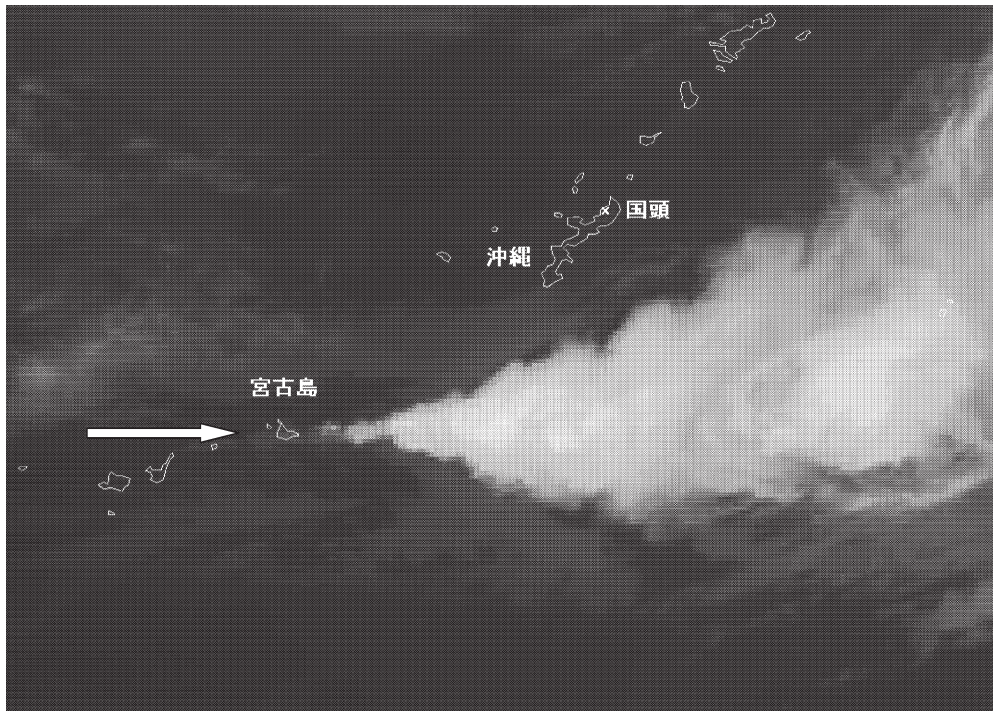


30日(日)西日本、暖か休日
寒気を伴った低気圧が日本海を東進。北陸や北日本の所々で雨。南から高気圧に覆われた西日本を中心に晴れて気温が上昇。5月中旬～7月中旬の最高気温。九州～東海で黄砂観測。



今月のひまわり画像—2006年4月

テーパリングクラウド (Tapering cloud)



2006年4月11日20時の赤外画像

激しい気象現象を伴う積乱雲の多くは、矢印で示している雲域のように、風上端が尖り風下側に広がった形状となる。このような形状の積乱雲域をその形状から「にんじん」状積乱雲域（テーパリングクラウド）と呼んでいる。一般的には主に海上で、低気圧中心付近や前線近傍・暖域に発生することが多い。

画像は4月11日20時の赤外画像である。宮古島の東から沖縄の南海上にかけてテーパリングクラウドが広がっている。この雲域は赤外画像から白く輝度の高い塊状となっているため発達した積乱雲である。この積乱雲域は中、上層風によって流され風下側では白く輝

度温度の低い滑らかな巻雲域が広がり、一方、風上端の部分では、下層の収束と暖湿気の流入により新たな雲を発生、発達させて風上側に伸びている。

このテーパリングクラウドは12時間前には宮古島の北の海上から沖縄本島付近にかかる積乱雲域であり、沖縄県国頭では8時までの1時間に54mmの非常に激しい雨を観測した。

このように、テーパリングクラウドは豪雨、突風、雷、降雹などの気象現象を伴っているので、十分に警戒しなければならない。

(気象衛星センター)